

四日市側から

上部にある「東海道」のフォントは桑名側と同じです。中央にある朝日町のロゴマークは、江戸時代の朝日町付近で東海道を歩く旅人に提供されていた「焼きハマグリ」から着想を得て、「ハマグリ」、「ハマグリを焼く女性」、「ハマグリを焼く燃料として使われていた「松ぼっくり」のほか、「東海道」、「昇る朝日」をデザインしたものです。なお、「松ぼっくり」は当時の東海道沿いにあった「松並木」のイメージも重ねています。



四日市側から



朝日町ロゴマーク拡大（白黒反転）



朝日町ロゴマークの中央および下にある「朝日町」のフォントについては、現在の朝日町資料館が役場庁舎として使用されていた際に門にはめ込まれていた大理石製の門標である「旧朝日町役場庁舎門標」に刻まれている「朝日町」の字を元に構成したフォントです。

旧朝日町役場庁舎門標
(画像は朝日町歴史博物館
デジタルミュージアムより)

なお、これらのデザインおよびレイアウトは、前述の滋賀県草津市、大津市の「東海道統一案内看板」にも深く関わられた滋賀県の成安造形大学芸術学部地域実践領域准教授の石川亮様および芸術学部情報デザイン領域助手の寺田駿志様のご協力により完成いたしました。

初めて朝日町を訪れる方に朝日町が東海道沿いのまちであることを知っていただき、かつて人々が往来した歴史の道に思いを馳せていただけるよう意識して作成しました。

朝日町の玄関口に立つシンボルとして、未永く町民の皆様や来訪される方々に親しんでいただければ幸いです。

今後、この看板の更なる活用を朝日まちなみ検討会の方々を中心に町民の皆さんと考えていけたらと思います。よろしくをお願いします。

